



学校だより

1月号

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>
E-mail: y3mutukd@edu.city.yokohama.jp

よ なか ひつよう ちから これからの世の中に必要な力

こう ちよう ほん ま あきら
校長 本間 明

2021年、新しい年が始まりました。皆様、新年あけましておめでとうございます。

1年前のお正月のとき、世界が大きく変わる1年になると誰が想像できたでしょうか。

1月から始まった新型コロナウイルス感染症の報道を聞かない日は無く、3か月の休校が実施されたり、9月入学制が議論されたりと、それまで考えもつかなかったことが世の中で話題にされました。

六つ川台小においても、多くの行事や活動が中止になったり、例年とは形を変えての実施になったりと、対応を余儀なくされた1年でした。

その、形を変えての実施になったものの一つに、毎週の朝会があります。

本来であれば、朝会は、体育館に全校児童が集まり、私や他の先生、代表の子どもたちなどがステージに立って話をする場です。

しかし、密を避けるため、今は毎週テレビ朝会での実施となっています。

放送室のスタジオで、毎週私はカメラに向かって話をするのですが、いちばんやりにくいと感じることは、子どもたちの反応が分からないことです。

笑っているのか、真剣に聞いているのか、それとも退屈そうなのか——、体育館で実際に子どもたちを前にして話をするのであれば、子どもたちの顔の表情からそれが分かるのですが、教室から離れたスタジオからでは子どもたちの顔が見えません。

やはり、顔を見合わせて話をするのは大切なことなのだと感じます。

朝会后、子どもたちから、「今日の校長先生の話、おもしろかったよ」との声が聞けることが、私にとっても話をする励みとなっています。

この年末年始、感染状況が大きく拡大しているとの報道がなされています。テレワーク、オンライン授業などが昨年から世の中でも話題になってきていますが、たとえリモートであっても顔が見えるのと見えないのとでは、コミュニケーションに大きな違いがありますね。

六つ川台小でも今年オンラインによる学習に力を入れてまいります。

もちろん、一つの教室にみんなが集まり、一緒に学ぶことがいいのに越したことはありません。ですが、今後の世界では、こういった遠隔によるやり取りがますます重要になってくることでしょう。六つ川台小の子どもたちに伸ばしたい、これからの世の中に必要な力の一つとして、取り組んでまいります。

また、引き続き毎日の感染症対策を行い、子どもたちが安心安全な学校生活を送れるよう、教職員一同一丸となって臨んでまいります。令和3年も、どうぞよろしくお願い致します。